

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三協化成株式会社 安芸津事業所

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市安芸津町三津4 2 3 4 番地

(3) 業種

1695 写真感光材製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、平成27(2015)年度から平成31(2019)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、「地域社会の一員」として、いつも「共存共栄のあるべき姿」を模索し特に「地域環境の保全」に対しては、不断の努力を継続していきます。

2004年にはISO14001を取得し、化学メーカーを営む上でどうしても避けることのできないエネルギーの消費や排水、産業廃棄物等の問題を周辺に決して迷惑のかける事のないよう細心の注意を払います。

2 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 環境関連製品の拡販
- 環境にやさしいノウハウ作り
- 廃棄物の排出抑制・リサイクルの推進

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	16,204	8,761	8,640

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)	削減目標		目標年度 (平成31年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産数量(千トン)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	8,761	7.280	1,203	5	8,323	7.280	1,143
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	8,761	7.280	1,203	5	8,323	7.280	1,143
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	3,238	7.280	444.8	5	3,076	7.280	422.6
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ を原単位ベースで年1%削減を目標とする。 電気は中国電力(株)の調整後排出係数を使用する。 原単位量換算の指標は生産量とし、千トン単位とする。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	重油原単位を年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 各工場の蒸気使用量把握（日常管理） 各製品の使用蒸気量把握（月度管理） ボイラ-装置の効率管理（日常管理） および装置定期更新 蒸気配管保温管理 スチームトラップの定期点検
2	電気使用量の削減	電気原単位を年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 各工場の電気使用量把握（日常管理） 各製品の使用電力量把握（月度管理） 休憩時間の消灯の徹底 冷暖房温度の適正管理 設備TPMの取組み
3			
4			

※原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

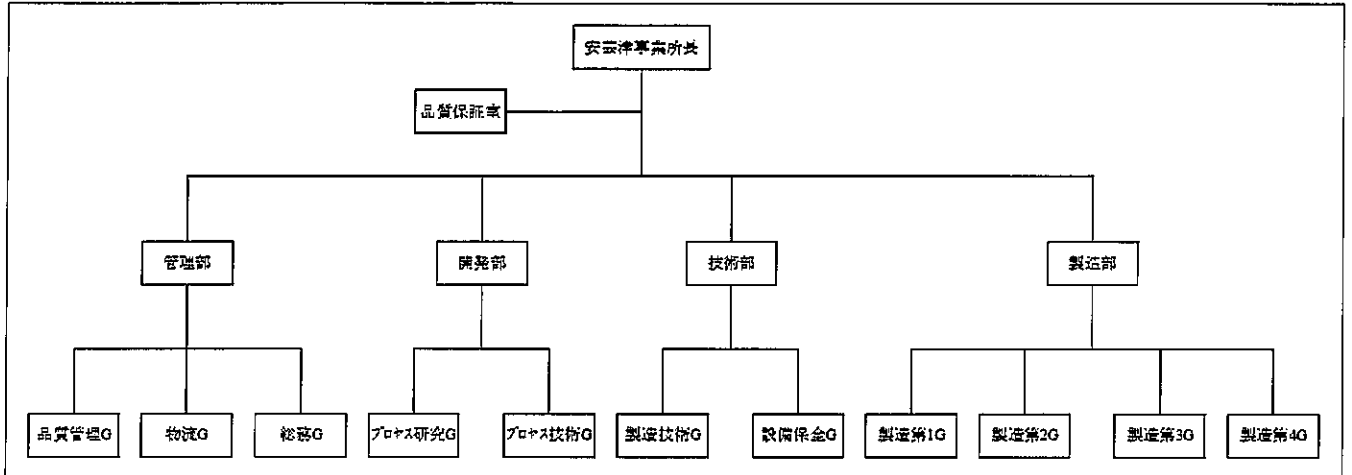
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 分別収集および資源化の徹底 両面コピー 包装材のリサイクル使用
2	省エネ活動教育	1回/月	グループ会議等で教育を実施
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

ISO 14001 安芸津事業所環境組織図



(2) 実施状況の点検・評価

品質保証室を中心にし、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検および問題点の検討を行う。

また、ISO14001をもとに評価、見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧するとともに、グループ会議等で報告する。